

取扱説明書

モナロウ コードレス半田こて (電池式)

注文コード:62011836

このたびは、コードレス半田こて(電池式)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

1.各部の名称・仕様



使用電池 : アルカリ単3乾電池×4本(別売)
使用時間 : 連続約30分(国産アルカリ乾電池使用の場合)
※電池の種類や使用条件などにより使用時間は異なります。
消費電力 : セラミックヒーター15W
最高温度 : 565℃
サイズ : 220mm×46mm×26mm
重量 : 60g(保護キャップ、電池含まず)
付属品 : 保護キャップ
別売品 : こて先は消耗品です。こて先が丸くなったり、半田が乗りにくくなったりした場合は、別売のこて先に交換してください。

交換用こて先
(コードレス半田こて用)
注文コード:62011845



2.安全にお使いいただくために

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が切迫して想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った使い方をした場合は、人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へとつながる可能性があります。

3.使い方

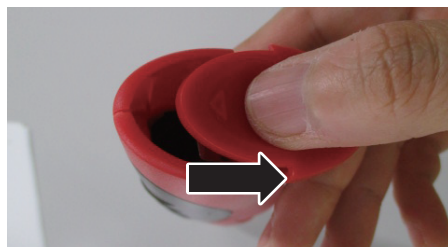
- 警告**
- ・こて先は高温になります。引火のおそれのある場所では使用しないでください。発火、火災の原因となり大変危険です。
 - ・可燃性気化ガスの周辺で、スイッチのON・OFFはしないでください。火花などで発火、火災の原因となり大変危険です。
 - ・使用中や使用直後のこて先周辺は高温になっています。絶対に手を触れないでください。ヤケドの原因となります。
 - ・使用しない時は必ず乾電池を抜いてください。乾電池が入ったままだと、誤ってスイッチを入れたときに高温になり、ヤケド、火災の原因となります。また、万一電池が液漏れし、目や皮膚に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。本体内部の電池端子などに付いたときは、すぐにふき取ってください。放置すると金属部分が腐食して使用できなくなります。
- 注意**
- ・電池ボタンの開閉時に、手や指をはさんだり切ったりしないよう注意してください。
 - ・本製品は半田づけ専用です。ビニール・発泡スチロール・液体などには使用しないでください。有毒ガスが発生して危険です。また、こて先の劣化や本体内部の腐食が起きて使用できなくなります。
 - ・こて先は鋭利になっています。保護キャップはつけたまま保管・持ち運びして、使用間際まで外さないでください。
 - ・こて先は絶対にヤスリなどで磨かないでください。半田がのらなくなります。

■ 電池の挿入/交換

1. 保護キャップを付けたままの状態、スイッチをOFFにします。



2. 電池ブタを手前に引き下げて外します。



⚠ 注意

手や指をはさまないよう注意してください。

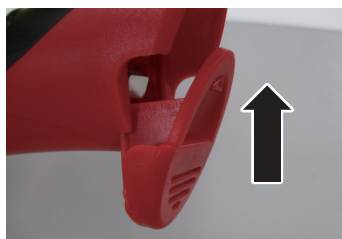
3. 乾電池を、+- (極性) に注意して挿入します。

※内部の乾電池の挿入方向を示すイラストを参考にしてください



4. 電池ブタの凸部を本体の溝に差込み、スライドさせて取付けます。

※使用中に照明が暗くなったり、半田が溶けなくなったら乾電池の寿命です。乾電池を交換してください。



⚠ 注意

新旧の乾電池を混ぜて使用すると、発熱や液漏れの原因になります。交換する時は4本とも同時に交換してください。

■ 操作のしかた

1. 保護キャップを外し、スイッチをスライドしてONにします (スイッチをONにした直後は、まだ、こて先は熱くなりません)。



2. こて先を半田づけする対象物に近づけ、通電・ライトスイッチボタンを押します。ライトが点き、約7~10秒で半田づけ可能な温度になります。

※通電中は本体の乾電池部が熱くなりますが、異常ではありません。

※使用中、こて先のゆるみがないか確認し、必要に応じて締めなおしてしてください。



⚠ 注意

- こて先は急速に熱くなり、ゆっくり温度が下がります。ヤケドしないよう十分に注意してください。
- 長時間で使用の場合は、本体が熱くなりますので、低温ヤケドにご注意ください。
- 作業を中断するときは、必ず保護キャップをしてこて先に触れないようにしてください。また、本体の置き場所にも十分に注意してください。

参 考

- 通電・ライトスイッチボタンから指を離すとライトが消え、こて先の温度が下がります。作業の状況に応じてボタンを押したり離したりしてこて先温度を調整してください。

3. 使用後はスイッチをスライドしてOFFに戻してください。

4. 保護キャップを付けて、乾電池を抜いて保管してください。

⚠ 注意

- 乾電池を抜かないで保管した場合、自然放電による液漏れを起こすことがあり、本体の故障につながります。